

社団法人全日本川柳協会

平成 18 年度第 1 回通常総会議事録

(平成 18 年度 2006 -)

日 時 平成 18 年 6 月 11 日 (日)
場 所 岩手県花巻市湯本第一地割 125
花巻温泉ホテル千秋閣

平成 18 年度第 1 回通常総会議事録

社団法人全日本川柳協会

1、日 時 平成 18 年 6 月 11 日 (日) 10 : 10 ~ 11 : 30

2、場 所 花巻温泉ホテル千秋閣 岩手県花巻市湯本第一地割 125

3、出席者の確認

出席者数 83 名・委任状出席 259 名・合計 342 名

正会員現在数 431 名の内上記のとおり定足数 216 名に達しており、よって定款第 27 条により当総会の決議事項は有効であることを確認した。

4、議事録署名者選出

津田暹、田頭良子の 2 氏を議事録署名者として選出した。

5、議事

今川乱魚会長が議長に選出され、挨拶ののち、次の事項を審議決定した。

第 1 号議案 平成 17 年度事業報告の件

事業に関する事項 (本田事務局長説明)

会議に関する事項 (本田事務局長説明)

議案書に基づきこれらを一同に諮ったところ、全員一致これを承認した。

第 2 号議案 平成 17 年度収支決算報告、監査報告及び承認の件

塩見理事長から平成 17 年度収支決算について説明があり、これについて清水監事から収支計算書、貸借対照表、財産目録など帳簿・伝票と照合して監査した結果正しく記載、運用されていた、また事業運営についても適切であると認められた旨の報告があった。

以上につき一同に諮ったところ原案通り、異議なく全員一致これを承認した。

第 3 号議案 新理事・新常任幹事選出の件

泉毅氏の逝去にともなう新理事の選任について提案がなされた。赤井花城氏を理事に選任する。

理事会推薦による新常任幹事の委嘱については理事会に提案されたが、理事会推薦による常任幹事についての内規を定め、東西で行われている常任幹事会において付議してから理事会・総会にかけるとの意見となった。

について一同に諮ったところ異議なく全員一致これを承認した。 についても了承された。

第 4 号議案 栃木大会、徳島国民文化祭、第 12 回誌上大会 (平成柳多留) の件

今川会長から議案書に基づき、栃木大会、徳島国民文化祭、第 12 回誌上大会 (平成柳多留) の課題、選者について諮ったところ、全員一致でこれを承認した。

第5号議案 第29回広島大会実行委員会に対する感謝決議の件

今川会長から、第29回全日本川柳2005年広島大会を成功させた実行委員会に感謝状を贈りたい旨を諮ったところ、全員一致でこれを承認した。

第6号議案 10年以上連続全国大会出席者表彰の件

今川会長から議案書に基づき、表彰該当候補者について諮ったところ、全員一致でこれを承認した。

10回連続大会参加者	船橋 豊・小林 良恵・三浦テイ子 市岡靖之助
20回連続大会参加者	松岡恵美子
25回連続大会参加者	根本 冬魚
30回全大会連続参加者	佐竹 観光
80歳以上の功労者顕彰	藤沢 岳豊・荻原 柳絮・田中 正坊 吹田 朝児・佐藤真砂延

第7号議案 報告、その他

平成18年度助成金報告の件

芸術文化振興基金に対する助成金申請の決定にともなう平成18年度事業の拡充について提案があり、全員一致でこれを承認した。

平成20年の全国大会開催地について現在、北九州と交渉中との報告があった。大野風柳常務理事が日本現代詩歌文学館の常任理事に就任されることとなった旨の報告があった。

全国大会の前夜祭費・当日参加費は安くないかとの意見があった。

清水監事より、来年から具体的に教科書の全面改正が行われる予定であり、その中で国語力をつけることが大きな柱となっているため、川柳を大きく取り上げるように働きかけている。また、教育新聞社から、子供たちのために日川協の全国大会で教育新聞社賞を出させていただきたい旨の話があった旨の報告があった。

磯野常務理事より、鶴彬の句碑を大阪に建設する話がある旨の発言があった。

駒木常任幹事より、文化庁に子供文化教室を開き、ジュニア川柳を普及するための申請を行ったところ助成金が出ることとなった旨の報告があった。

ジュニア川柳の普及にはマニュアルが必要と思われるとの意見に対して、なるべく早い時期に実現に向けて努力する旨の回答があった。また、間違いがないように校正をしっかりと欲しいとの意見があった。

以上により本日の議事を終了し、議長から謝辞を述べたのち閉会を宣した。